

# 那珂川だより

那珂川緊急治水対策プロジェクトに盛り込まれた河川対策の進捗やソフト対策の検討状況をお知らせします

令和3年2月  
第8号

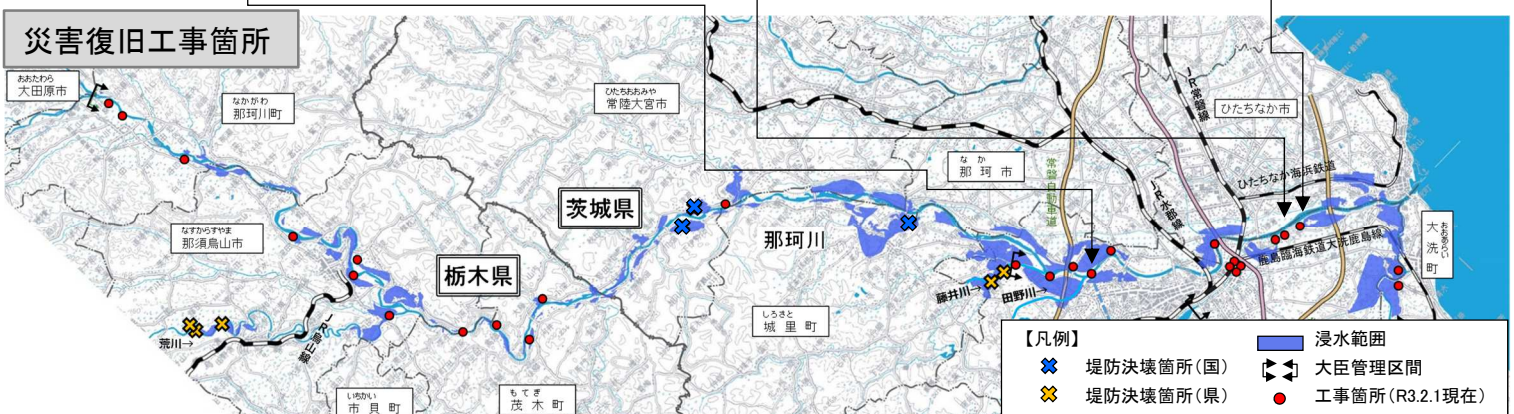


編集・発行  
国土交通省 常陸河川国道事務所

## 工事の進捗状況

### 災害復旧工事

○令和元年東日本台風による出水で傷んだ護岸や削れた河岸の復旧をしています。河川内では出水期中（6月～10月）に工事が出来ないため、令和2年の5月までに**応急的に補修等を行い必要な機能を確保**し、11月から本格的な復旧工事を開始しました。  
現在、那珂川の28箇所で行っています。



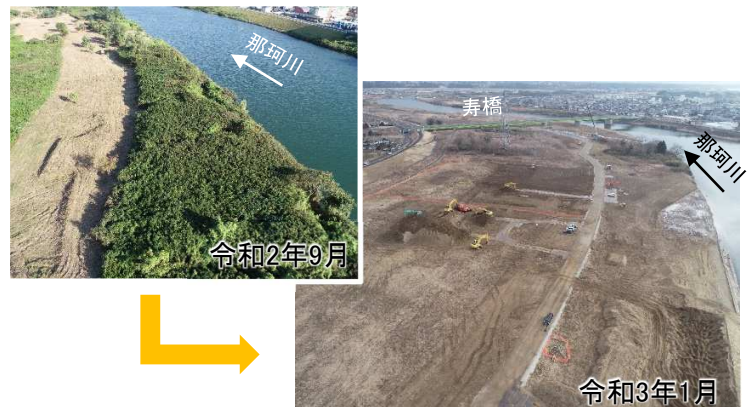
### 河道掘削工事

○洪水時に水が流れる面積を広くして水位を低下させるため、河道を掘っています。  
掘った土は堤防を嵩上げする工事などで有効利用しています。

#### ひたちなか市枝川地区



#### 水戸市水府地区



# 久慈川・那珂川流域協議会（第2回）を開催しました

○近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えて、久慈川・那珂川流域においても、流域全体のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水プロジェクト」の策定・公表に向けた準備を進めています。

○流域全体のあらゆる関係者が取り組む「流域治水」の趣旨から、福島県や上流域の自治体、農業関係部局などの構成員の拡大を図るため、「久慈川・那珂川流域治水協議会（第2回）」を1月29日に書面開催しました。

## ①氾濫をできるだけ防ぐ

**集水域**  
(雨水貯留機能の拡大)  
雨水貯留浸透施設の整備、田んぼやため池等の高度利用  
⇒ 県・市、企業、住民

**河川区域**  
(流水の貯留)  
利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用  
⇒ 国・県・市・利水者  
土地利用と一体となった遊水機能の向上  
⇒ 国・県・市

(持続可能な河道の流下能力の維持・向上)  
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備  
⇒ 国・県・市

## ②被害対象を減少させるための対策

(リスクの低いエリアへ誘導・住まい方の工夫)  
土地利用規制、誘導、移転促進  
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討  
⇒ 市、企業、住民

**集水域/氾濫域**  
(氾濫範囲を減らす)  
二線堤の整備、自然堤防の保全  
⇒ 国・県・市



## ③被害の軽減・早期復旧・復興

**氾濫域**  
(土地のリスク情報の充実)  
水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信  
⇒ 国・県

(避難体制を強化する)  
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握  
⇒ 国・県・市

(経済被害の最小化)  
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定  
⇒ 企業、住民

(住まい方の工夫)  
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進  
⇒ 企業、住民

(被災自治体の支援体制充実)  
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化  
⇒ 国・企業

ふむふむ。



# 水戸市下国井地区の河道掘削に関する用地境界立会を実施しました

○令和3年1月27、28日に、河道掘削予定箇所及び隣接する土地の地権者と共に用地買収を行う上で必要となる、用地境界の立会を行い、2日間で延べ54名の地権者の方にご参加・ご協力をいただきました。

○今後、詳細な用地及び物件調査を進めて参りますので、ご協力をお願いいたします。



# 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラを増設しました（茨城県区間）

○茨城県管理の藤井川、西田川、田野川では、河川の状況を速やかに把握するため、危機管理型水位計を2基、簡易型河川監視カメラを7基増設しました。

○危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの情報は、「茨城県土木部雨量・河川水位情報」→「現況表」→「危機管理型水位計・カメラ情報」で確認することができます。

URL: <http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/>



簡易型河川監視カメラ(藤井川)



撮影画像



国土交通省 関東地方整備局  
常陸河川国道事務所 調査第一課  
TEL: 029-240-4069



〒310-0851  
茨城県水戸市千波町1962-2

プロジェクトに関するお問い合わせはこちらです

常陸河川国道事務所

検索

